

## かき氷 生シロップメニューの採算性について

### ◆ 現状まとめ

ホームページ用追記  
業務価格ではないので  
計算に誤りがありますが  
伝えたいことと概算は合っています

- 売価：800 円
- 原価：696.25 円
- 1 杯あたり利益：103.75 円（利益率：約 13%）（通常 40~50%）  
1 日 5 杯売っても利益はたったの 500 円
- ※損益分岐点（材料費ベース）：1.15 杯  
→ 2 杯売ってようやく利益が出る計算

---

### △ 問題点

- 昨年思うように売れなかった → ロス（在庫廃棄）発生
- 生シロップは開封後の賞味期限が 2 週間と短く、在庫リスク大
- ロス＝利益を圧迫し、赤字確定の構造
- 同一販売元から購入→<sup>店名</sup> [REDACTED] が赤字でも販売元が儲かるシステム

---

### ◆ 利益率だけでは判断できない理由 ～ロスによる実質赤字のリスク～

現状の生シロップかき氷は、1 杯あたりの利益率で見ると約 13%とされていますが、これは「1 本のシロップを無駄なく使い切れた場合」に限った理論値です。実際には、以下のような課題があります。

- 生シロップは開封後 2 週間で廃棄の必要がある
- 実績として、1 週間あたり 1~2 杯しか売れない日も多かった
- 1 本（3,000 円）を 20 杯で使い切る前に期限切れになる＝仕入額まるごと損失

つまり、「13%の利益率」として表示されている数値は、現場の実態とはかけ離れており、ほぼ成立していない前提に基づいたものです。

さらに、例えば2週間で3杯しか売らなかった場合、

- ・ 売上合計：800 円 × 3 杯 = 2,400 円
- ・ シロップ原価：3,000 円
- ・ 他材料費含めた合計原価：約 3,500 円～  
→ 1,000 円以上の赤字が発生

このように、「仕入れた分を使い切れない場合のロス」が全体の採算を大きく崩している。利益率ではなく、仕入単位ごとの売上予測に基づいた採算管理が必要です。

---

### ◆ 結論（提案）

- ・ 同じ構成での継続販売は赤字リスクが高い
- ・ 原価の安いメニューに変更するなど、利益率の改善を検討する必要あり
- ・ 昨年の実績と数字で判断する冷静さが必要

---

項目	数値
1杯あたりの売価	800
1杯あたりの原価	696.3
利益	103.75
利益率	13%
マイナスライン(杯)	1.15

材料名	仕入れ単価	仕入れ量(g)(個)	1杯分材料量	1杯分原価
氷	4880	8	0.7	427.0
生シロップイチゴ	3186	1000	50	159.3
氷みつイチゴ（南のパラダイス）	840	1000	50	42.0
イチゴパウチ	453	200	30	68.0
	9359.0			696.3

---

### 商品提案

#### ◆ イチゴソーダ

- ・ 生シロップ：50ml（原価：約 160 円）
- ・ 炭酸水：1 缶（原価：約 40 円）
- ・ カップ・氷：10 円くらい

→ 原価合計：約 210 円

→ 売価：500 円とすると

利益=290 円、利益率=約 58%

◆ いちごフラッペ

- ◆ 生シロップ (50ml 使用：約 160 円)
- ◆ 牛乳 (150ml：約 223 円)
- ◆ 氷 (約 10 円)
- ◆ ホイップクリーム：トッピングで約 20 円

→合計原価：約 383 円

→売価：650 円とすると

利益＝約 267 円

利益率＝約 41%

2 商品同時採用

または簡易的なかき氷と

併用でロス削減◎



1 本（3,000 円）を 20 杯で使い切る前に期限切れになる＝仕入額まるごと損失

1 ヶ月で 2.5 本(7,500 円)の生シロップを開封するとして、

● 昨年 8 月の売れ行き

いちご 31 杯→24,800 円

ぶどう 17 杯→13,600 円

マンゴー13 杯→10,400 円

抹茶 10 杯→8,000 円(ほぼ利益なし)

● 昨年 9 月の売れ行き

いちご 24 杯→18,400 円

ぶどう 5 杯→4,000 円(大赤字)

マンゴー11 杯→8,800 円(他の経費を考えれば、ほぼ利益なし)

抹茶 7 杯→5,600 円(大赤字)

● 昨年 10 月の売れ行き

いちご 7 杯→5600 円(大赤字)

ぶどう 3 杯→2400 円(大赤字)

マンゴー1 杯→800 円(大赤字)

この 1 杯の為に 3000 円のシロップを開封している（2200 円以上の損失）

抹茶 3 杯→1600 円(大赤字)

結論

8 月に出た利益を他の月で相殺している

8 月にいちごのみ採用することが望ましい